

2021年度(令和3年度)事業計画

昨年度から続いている新型コロナウイルスの感染症の拡大が今なお継続しており、今後ワクチン接種の効果が期待されているが、その収束についての見通しが不透明な状況にある。今年度はこうした状況を注視しつつ、土壌医の会の活動の一層の推進や成果の向上に向けて(一財)日本土壌協会(以下、協会)と連携しつつ対応していく。

(1)土壌医の会を巡る状況と課題

①データ駆動型土づくり推進事業への対応

土壌診断に関する農林水産省の補助事業である「データ駆動型土づくり推進事業」が3か年計画でスタートして2年目になる

本事業の推進は土壌医の会にとって土壌診断を体験する場であり、会員を増やす機会になるとともに、土壌医の会や会員の社会的認知度を高める機会ともなり得ることから、積極的に対応していく必要がある。

②土壌医検定試験の受験申し込み者

人材育成や土づくりの普及を目的として実施している土壌医検定試験については、2020年度は、コロナ禍の状況下で、受験しにくい環境にあったが、試験申込者数は92名増加した。

試験申込者の職業別等内訳を見ると、企業関係者の受験申し込み者数が減少傾向にある一方で、農業高校、農業大学校、農業者(含む農業法人)、農協は増加基調にあり、今後一層、若年層や農業者等に重点をおいた活動が必要である。

③土壌医等の資格登録者

土壌医等資格登録者は、昨年度は、対前年比で64名増加したが、合格者が最も多い3級合格者の登録者(土づくりアドバイザー)については減少している。

今後、土づくりアドバイザー等をも含めた土壌医等資格登録者の増加が課題である。

④土壌医の会の組織化

土壌医の会の組織化数は、現時点で、地域土壌医の会21組織、事業体土壌医の会は17組織で、合計38組織である。

しかしながら、特に資格登録者間の交流や研鑽機会の拡大が期待できる地域土壌医の会の組織化に関しては、土壌医の会の未結成地域がまだ多く、正会員数が少ない。こうしたことから、一層、地域土壌医の会の組織化を推進する必要がある。

⑤活動成果の向上とPR

地域での受験対策研修会の開催等土づくりの普及や優良土づくり推進活動の表彰等土壌医の会の活動について一定の成果は上げられている。今後、一層土壌医の会や正会員の社会的認知度を高めていくとともに、土壌医等の役割が向上していくよう努めていく必要がある。

(2)活動方針

土壤医の会を巡る状況と課題を踏まえて、①「データ駆動型土づくり推進事業」への協力等を通じた研鑽や交流の促進と土壤医の会の組織化推進、②農業者、農業高校等への土づくり普及推進、③土づくりの活動成果の向上などに取り組んでいく。

1)土壤医の会の会員等の研鑽、交流活動の促進と土壤医の会の組織化

①「データ駆動型土づくり推進事業」の協力等を通じた研鑽や交流の促進

「データ駆動型土づくり推進事業」は、従来の次作の施肥改善を主な目的とした化学性診断のみではなく、物理性測定、圃場カルテの診断を加えた作物の生育等の改善に重点を置いて実施するものである。本事業のオリエンテーションや物理性の測定方法等の説明会への参加を通じて、診断の進め方等が体験できる。

本事業への参加を通じ、実施県の資格登録者間の交流が活発となり、昨年度は青森南土壤医の会のように事業協力を通じ地域土壤医の会が組織化されたり、会員が増加した地域土壤医の会も見られた。

本年度は事業実施県や実施地区が増加することとなるので、事業実施地区の土壤医の会の正会員はもとより資格登録されていない方、関係農家などの参加を求め、つながりを持ち、土壤医の会の活動への関心を持ってもらう。また、こうした場を通じ、まだ資格登録されていない方々に対しては、資格登録を勧めるとともに地域土壤医の会への加入を勧めていく。

また、特に東北、北関東、東海、北陸、中国地域等での組織化が不十分な地域では、協会と連携して組織化の核となる方を見出し、その方を中心に組織化がなされるよう支援していく。

②資格登録者数の増加と土壤医の会の会員拡大

土壤医等資格登録者数については、全体として増加しているが、土づくりアドバイザーについてはやや減少している。この要因としては、特に対象者層の人事異動が多いこと、上位資格へのステップとしての位置付け、登録更新機会が少ないこと等が考えられる。

登録更新のための研鑽機会については、ウェブ等での研鑽メニューが昨年度から開始されており、多くの方が利用している。こうしたことや資格登録のメリットをPRして登録者数の維持・増加に努める。

また、「データ駆動型土づくり推進事業」への参加を呼び掛け、物理性の調査の実施等がCPD単位になることをPRするとともに、土壤医の会の会員になることを勧める。

③「土壤医の会通信」の発行による会員間の情報交流の促進

昨年度より、会員間の情報交流の促進をねらいとして「土壤医の会通信」を発行してきている。(現在6号まで発行)各土壤医の会の活動の動きなどの情報をタイムリーに提供するとともに、「データ駆動型土づくり推進事業」の動向についても土壤医の会会員等にメールで提供していく。

これにより、「データ駆動型土づくり推進事業」における現地調査活動の支援要請等現地の要望を伝え、事業実施の円滑な推進にも協力していく。

また、こうした通信の提供により土壤医の会会員となるメリットを高められるようにしていく。

2) 農業者、農業高校等への土づくり普及推進

①重点対象層への土壤医検定試験のPRと受験推進

土壤医検定試験の受験者は、農業者(含農業法人)、JAグループ、農業高校生、農業大学校生等が増加基調にあり、今後も増加が見込まれる。

特に農業者(含農業法人)については、農林水産省の土づくりセミナー等を通じた土壤医検定試験のPRを行うとともに、「データ駆動型土づくり推進事業」の実施地区等におけるPRなどを推進する

また、地域土壤医の会が行う受験対策の研修会の開催が地域の農業者等に受験促進に大きな効果を得てきている。今年度も、地域土壤医の会においては、これらの地域の土づくりに関心のある方々に参加を呼びかけ、受験対策の研修会を実施するようしていく。

2020年度、コロナ禍の状況下でも受験申込者数が増加した要因として、農業高校等を試験会場とした準会場の増加があげられる。こうしたことから、準会場の設置を拡大するとともに受験者の拡大に向けて働きかけていく。

②農業大学校等への出前研修の推進

農業大学校生の土壤医検定試験受験者は、特に出前研修を行っている地域では年々増加している。

出前研修に前向きな先生と時期、会場、内容、講師の手配等の相談を通じて出前研修の開催を進めて行く。出前研修に前向きな学校に対し極力県内の土壤医や土づくりマスターの方を派遣していく。

③効果的な土づくりや土壤医制度のPRの推進

最近増えつつある新規就農者、市民農園の利用者等、個別に捉えられない層には、SNS投稿のように、手間や費用がかからず、大勢の人の目に触れる機会があるもの(facebookの農業者グループへの投稿等)を利用してPRしていく。

また、昨年度より土壤医の会の会員等に対して土壤医検定試験の受験体験や会員になってからの農業経営や土壤診断実施上のメリットを記述したレポートを土壤医検定試験のパンフレットの付属資料として配布する。

今年度もこの取組みを継続するとともに、過去の資料については、協会のHPにアップする。

3)土づくりの活動成果の向上

土づくり成果の向上を図るためには、地道な積み上げが必要で、そのためには、①一層、診断能力の向上を図ること、②小業績などの申請を増やしていくこと、が重要である。このため、「データ駆動型土づくり推進事業」の協力等を通じ小業績などの申請への取組を拡大していく。

また、優良土づくり推進活動の表彰制度は、活動成果の向上や社会的評価を高めることにもつながるので、応募を呼び掛けるとともに、協会ホームページ等で過去の表彰内容の紹介を含めPRしていく。

また、優良土づくり推進活動表彰事業等の改善事例については、これまでに表彰された事例等を蓄積し、適切な診断と処方箋作成に必要なデータベースとして活用できるよう整備・充実させていく。

(3)各部会の活動

1)研鑽部会

地域土壤医の会の組織化を中心に推進するとともに、土壤医の会の会員拡大と研鑽、交流活動の促進、優良活動の表彰の推進を図っていく。

全国協議会の行事として、全国交流大会の開催や日本土壤協会との共催による研修会等を実施する。

① 第5回全国交流大会の開催

多くの方の関心の高いテーマの講演、正会員や土壤医の会の優れた活動成果の表彰と発表、情報交流を主な内容とする第5回全国交流大会は、2020年と同様に参加人数を縮小して、東京都日比谷図書文化館4階のスタジオプラス（通常定員60名）で開催する。

②協会との共催による研修会などの開催

全国協議会と協会との共催で実施する主に資格登録者や合格者を対象とした「レベルアップ研修会」は、2022年1月14日（金）に東京の連合会館で開催する。

また、土づくり推進フォーラム講演会、土づくり推進シンポジウム(土づくり推進フォーラム主催(事務局:協会))を共催で実施する。

2)調査研究部会

①地域重要問題研究会の開催

地域において重要な課題をテーマとして最近の研究成果や現地での取り組み成果等を発表し、意見交換を行う地域重要問題研究会は、秋田土壤医の会と開催に向けた検討を進める。

②土壤診断を効果的に実施するための改善事例データベース整備

土壤医の会正会員等がより適切な診断と処方箋を作成していくため、表彰事業等の事例を蓄積し、データベースとして整備していく。

また、今後、「データ駆動型土づくり推進事業」の構成メンバーとともに、「データ駆動型土づくり推進事業」の実施を通じたデータベースの活用について検討していく。

3)土づくり普及部会

農業大学校等の出前研修の推進とともに、会員以外の方々への土づくり普及や土壤医検定試験・資格登録制度等の認知度向上のための活動を行う。

① 土づくり普及のための農業大学校等への出前研修の実施

農業大学校、農業高校からの要請に応じた出前研修は、実施可能な農業大学校、農業高校に対して極力県内の土壤医や土づくりマスターの方を派遣する。

②土づくりに関心の高い組織等に対する普及活動

「データ駆動型土づくり推進事業」の実施地区の農業者等に対し、パンフレットを配布しPRするとともに、土づくりに関する冊子を配布するなど土づくりへの関心を高めていく活動を行う。

また、昨年度と同様、農業法人等土づくりに関心を有する組織に加え、貸農園等の企業や利用者へ配布を強化する。さらにSNS投稿によりfacebookの農業グループ等へ検定試験の案内を投稿する。

(4) 定例会議等の開催

「第1回幹事会(ZOOMによるWeb会議)」

日時：2021年8月11日(水) 13:30～15:00

議題：

1. 議案1 2020年度事業報告案及び収支決算案について
(会計監査報告)
2. 議案2 2021年度事業計画案及び収支予算案について
3. 議案3 役員改選について
4. 報告事項
 - ① データ駆動型土づくり推進事業の概要
 - ② 2020年度土壤医検定試験の実施結果と資格登録等の概要
 - ③ 土壤医等資格登録と土壤医の会への入会案内
 - ④ その他

「第2回幹事会」

日時：2021年12月8日(水) (予定) 10:30～12:00

会場：東京都日比谷図書文化館4階 スタジオプラス (定員60名)

開会：会長挨拶 来賓挨拶

議題(予定)：

- (1) 2021年度の事業経過報告
- (2) データ駆動型土づくり推進事業について
- (3) 第5回全国交流大会の開催について
- (4) その他

閉会：会長挨拶

「第5回全国交流大会」

日時：2021年12月8日(水) (予定) 13:30～16:30

会場：千代田区立日比谷図書文化館4階 スタジオプラス (定員60名)

開会：会長挨拶、来賓挨拶

議題(予定)：

- (1) 2021年度事業の経過報告
- (2) 優良土づくり推進活動の表彰式
- (3) データ駆動型土づくり推進事業について
- (4) 地域土壤医の会及び部会の活動報告

閉会：会長挨拶

令和3年度「土壤医の会全国協議会」収支予算(案)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1. 収入額	6,243,001 円
2. 支出額	6,243,001 円
3. 差引額	0 円

(単位：円)

科 目	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	差引増減 (△) 額	備 考
1. 収入の部				
(1) 会 費	4,690,000	3,540,000	1,150,000	ゴールド85(90)名、シルバー640(440)名
(2) 事業収入	0	175,000	△175,000	全国交流大会は、コロナ禍の下、規模縮小して実施。情報交流会は中止。
(3) 雑 収 入	5	5	0	利息収入等
(4) 前年度繰越金	1,552,996	369,311	1,183,685	
収入合計	6,243,001	4,084,316	2,158,685	
2. 支出の部				
(1) 事業費	730,000	818,220	△88,220	
調査研究会費	200,000	200,000	0	地域重要問題研究会費(秋田)
全国交流大会費	100,000	223,220	△123,220	交流会会場借用、表彰関係費等
研修会等開催補助	50,000	15,000	35,000	出前研修会講師料等
地域土壤医の会補助	380,000	380,000	0	① 地域土壤医の会助成 ② 研修会助成等
(2) 幹事会費	150,000	300,000	△150,000	8/11 第1回幹事会、12/7 第2回幹事会開催費(会場費、旅費交通費等)
(3) 刊行物購読費	1,620,000	1,240,000	380,000	「作物生産と土づくり」購読：ゴールド85(90)名、シルバー640(440)名
(4) 協会負担金	1,500,000	1,500,000	0	土壤医の会、全国協議会の活動等支援事務(土壤医の会要綱5条)
(5) 雑 費	10,000	10,000	0	資料印刷代、銀行振込手数料等
(6) 予備費	2,233,001	216,096	2,016,905	
支出合計	6,243,001	4,084,316	2,158,685	